



## 2024年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月12日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 信太 明  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 高橋 重行 TEL 0570-05-2459  
定時株主総会開催予定日 2024年8月27日 有価証券報告書提出予定日 2024年8月28日  
配当支払開始予定日決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期の連結業績(2023年6月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	441	2.9	92		85		138	
2023年5月期	454	9.1	71		78		89	

(注) 包括利益 2024年5月期 118百万円 ( %) 2023年5月期 70百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2024年5月期	18.46		27.0	8.7	21.0
2023年5月期	11.87		14.7	7.7	15.8

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 百万円 2023年5月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年5月期	953	453	47.6	60.49
2023年5月期	993	571	57.5	76.23

(参考) 自己資本 2024年5月期 453百万円 2023年5月期 571百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	121	39	27	506
2023年5月期	91	28	25	545

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2023年5月期		0.00		0.00	0.00	0		
2024年5月期		0.00		0.00	0.00	0		
2025年5月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期	7,502,800 株	2023年5月期	7,502,800 株
期末自己株式数	2024年5月期	株	2023年5月期	株
期中平均株式数	2024年5月期	7,502,800 株	2023年5月期	7,502,800 株

(参考)個別業績の概要

2024年5月期の個別業績(2023年6月1日～2024年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	340	4.7	50		28		68	
2023年5月期	325	16.0	44		48		112	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期	9.13	
2023年5月期	15.00	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	888	469	52.9	62.58
2023年5月期	887	534	60.2	71.27

(参考) 自己資本 2024年5月期 469百万円 2023年5月期 534百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2024年7月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年6月1日～2024年5月31日）におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や円安を背景としたインバウンド需要の増加等により、景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢による資源価格の高騰や世界的な金融引き締め等の懸念材料が見込まれ、依然として先行きは不確実な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「業績回復」を最優先課題とし、1. 経営資源を収益性の高い事業やサービスに集中させることで、グループの合理化・効率化を図るとともに、2. 強みである海外・多言語分野で幅広い需要を取り込むことができるよう、グローバルBtoB企業向けのアウトバウンドマーケティング支援（海外進出・海外向けプロモーションなど）の領域で営業活動の強化を行ってまいりました。

まず、海外法人については、今後の事業環境や収益性、当社と連携することによる相乗効果や人材の確保などの観点から連結子会社2社の解散及び清算を決定いたしました。各国に分散していた経営資源を海外・多言語需要の拡大が期待される日本本社に集約し、経営のスリム化を図った結果、清算に係る費用を子会社清算損として特別損失に54,050千円計上しております。

また、大手グローバル企業を中心にSEOコンサルティングサービス（海外SEO）の営業活動を強化いたしました。新規受注の低調により、利益貢献が計画よりも遅延しております。顧客の海外・多言語領域におけるニーズが多様化、複雑化する中、より幅広い顧客の需要に答えることができるよう、サービスの拡充を行ってまいります。

一方で、インバウンド市場においては、需要の大幅な回復がみられ、2023年に日本を訪れた外国人が国内で消費した金額は、5兆2,923億円となり、これまでで最も多かったコロナ前の2019年の4兆8,135億円を上回り過去最高となりました。インバウンド関連の広告出稿の需要は回復傾向にあり、今後も拡大を見込んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は441,495千円（前年同期比2.9%減）、営業損失は92,673千円（前年同期は営業損失71,980千円）、経常損失は85,170千円（前年同期は経常損失78,400千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は138,505千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失は89,036千円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、784,215千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.5%減少し、168,958千円となりました。これは、主に投資有価証券の減少によるものであります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて44.9%増加し、254,215千円となりました。これは、主に未払金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、245,080千円となりました。これは、主に長期前受金の減少によるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて20.6%減少し、453,878千円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は前連結会計年度末に比べて39,186千円減少し、506,331千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、121,943千円（前連結会計年度は91,677千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失143,536千円によるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、獲得した資金は、39,777千円（前連結会計年度は28,159千円の獲得）となりました。これは主

に、投資有価証券の売却による収入があったことによるものであります。

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、27,226千円（前連結会計年度は25,920千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入40,000千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、設備投資などの社会経済活動の活発化が期待されるものの、地政学リスクの高まりや原材料・エネルギー価格の高騰、実質賃金の減少により経済活動の低迷は深刻化しており、引き続き非常に厳しい環境が続くものと思われま

す。現在、訪日インバウンド市場は右肩上がりです。急回復を遂げ、回復から成長の段階に入り、日本企業における外国人向けプロモーション需要はますます高まることが期待されております。しかしながら、人手不足やオーバーツーリズム等の課題も残っており、積極的な販促活動については、先行きを見通すのが難しい状況と認識しております。一方で、円安を背景にデジタルツールを活用した日本企業の海外進出及び海外への販路拡大の需要は今後も拡大すると見込んでおります。

このような環境の中、当連結会計年度においてグループ全体の効率化・合理化を図り、収益力を高めた新たな組織体制を構築してまいりました。2025年5月期においては、グローバル人材の確保と育成により付加価値の高いサービスを提供し続けられる体制を強化するとともに、多様化・複雑化する顧客の海外進出・販路拡大需要に応えることのできるサービスの開発をおこなうことで新たな収益機会の創出を目指してまいります。

なお、2025年5月期の連結業績予想につきましては、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において、営業損失71,980千円を計上いたしました。また、当連結会計年度においても、主に民間企業におけるインバウンドマーケティング（訪日旅行者向けプロモーションなど）の需要が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から完全に回復するまでには至らず、当社を取り巻く事業環境は引き続き大変厳しいものとなりました。また、グループ全体の効率化、合理化を図るべく、収益性の低い海外法人の解散・清算の決定やオフィスをはじめとする固定費の削減を実施しましたが、当連結会計年度においては費用が先行したことで、業績の改善に大きな影響を及ぼすまでには至っておりません。その結果、営業損失92,673千円を計上しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、需要が堅調に増加しているグローバルBtoB企業向けのアウトバウンドマーケティング（海外進出、海外市場向けプロモーションなど）領域へ重点的に経営資源の配分を行い、営業活動を強化することで、売上高及び収益の拡大を図ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した訪日旅行者向けのインバウンドマーケティング市場においては急激な需要回復に備え、業務の効率化や定型化により生産性を向上を図ってまいります。また、多様化・複雑化する顧客の需要に応えるべく、海外ローカル人材とのネットワークや新たなデジタルソリューションなどを活用した付加価値の高いサービス提供により、顧客生涯価値（支援対象国の拡大、新たなサービスの導入）の向上を図ってまいります。

なお、資金面では、当連結会計年度の末日現在において、現金及び預金を506,331千円保有しており、当面の間、運転資金および投資資金を十分賄える状況であることから資金繰りに関して重要な懸念はないと判断しております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在するものの、重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内外の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	545,518	506,331
受取手形及び売掛金	140,643	159,488
販売用不動産	77,474	83,362
仕掛品	1,334	—
その他	64,920	38,099
貸倒引当金	△22,594	△3,066
流動資産合計	807,295	784,215
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,192	—
減価償却累計額	△6,192	—
建物(純額)	—	—
工具、器具及び備品	2,475	—
減価償却累計額	△2,373	—
工具、器具及び備品(純額)	102	—
有形固定資産合計	102	—
無形固定資産		
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	139,660	124,775
敷金及び保証金	7,016	2,136
その他	39,880	62,912
貸倒引当金	—	△20,866
投資その他の資産合計	186,557	168,958
固定資産合計	186,660	168,958
資産合計	993,956	953,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,157	122,412
1年内返済予定の長期借入金	12,773	18,159
未払金	17,883	62,784
未払費用	19,389	24,132
未払法人税等	290	290
前受金	7,677	8,084
賞与引当金	1,960	—
その他	6,326	18,351
流動負債合計	175,457	254,215
固定負債		
長期借入金	205,666	227,506
繰延税金負債	3,799	5,572
長期前受金	37,104	11,787
その他	—	213
固定負債合計	246,570	245,080
負債合計	422,027	499,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	538,774	538,774
利益剰余金	△124,230	△262,735
株主資本合計	514,544	376,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,494	11,848
為替換算調整勘定	48,881	65,989
その他の包括利益累計額合計	57,376	77,837
非支配株主持分	8	2
純資産合計	571,928	453,878
負債純資産合計	993,956	953,173

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	454,515	441,495
売上原価	137,061	155,214
売上総利益	317,454	286,280
販売費及び一般管理費	389,435	378,954
営業損失(△)	△71,980	△92,673
営業外収益		
受取利息	292	477
助成金収入	—	457
解約手数料等	295	32
為替差益	5,079	8,296
投資事業組合運用益	8,228	11,536
投資有価証券売却益	—	3,059
その他	2,140	3,488
営業外収益合計	16,037	27,348
営業外費用		
支払利息	2,206	3,029
付加価値税等	—	15,971
貸倒引当金繰入額	19,392	△366
貸倒損失	—	645
その他	858	565
営業外費用合計	22,457	19,845
経常損失(△)	△78,400	△85,170
特別利益		
固定資産売却益	38	44
特別利益合計	38	44
特別損失		
減損損失	5,535	3,489
事務所移転費用	5,091	871
子会社清算損	—	54,050
その他	—	0
特別損失合計	10,626	58,410
税金等調整前当期純損失(△)	△88,988	△143,536
法人税、住民税及び事業税	48	291
法人税等還付税額	—	△5,316
法人税等合計	48	△5,024
当期純損失(△)	△89,037	△138,512
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△6
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△89,036	△138,505



連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純損失 (△)	△89,037	△138,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	3,353
為替換算調整勘定	18,295	17,107
その他の包括利益合計	18,868	20,461
包括利益	△70,168	△118,050
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△70,168	△118,044
非支配株主に係る包括利益	△0	△6

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年6月1日 至2023年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	341,136	471,876	△209,431	603,580	7,921	30,585	38,507	9	642,097
当期変動額									
減資	△241,136	241,136		-					-
欠損補填		△174,237	174,237	-					-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△89,036	△89,036					△89,036
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					572	18,295	18,868	△0	18,867
当期変動額合計	△241,136	66,898	85,200	△89,036	572	18,295	18,868	△0	△70,168
当期末残高	100,000	538,774	△124,230	514,544	8,494	48,881	57,376	8	571,928

当連結会計年度(自2023年6月1日 至2024年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	100,000	538,774	△124,230	514,544	8,494	48,881	57,376	8	571,928
当期変動額									
減資	-	-		-					-
欠損補填		-	-	-					-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△138,505	△138,505					△138,505
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					3,353	17,107	20,461	△6	20,455
当期変動額合計	-	-	△138,505	△138,505	3,353	17,107	20,461	△6	△118,050
当期末残高	100,000	538,774	△262,735	376,038	11,848	65,989	77,837	2	453,878

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△88,988	△143,536
減価償却費	3,190	1,749
為替差損益(△は益)	△5,457	△8,150
減損損失	5,535	3,489
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,194	△277
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,059
投資事業組合運用損益 (△は益)	△8,228	△11,536
受取利息及び受取配当金	△292	△477
支払利息	2,206	3,029
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,333	△16,430
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,934	1,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,085	11,691
その他	△34,030	36,358
小計	△89,183	△125,737
利息及び配当金の受取額	292	477
利息の支払額	△2,206	△3,029
法人税等の支払額	△580	△56
法人税等の還付額	—	6,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,677	△121,943
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△1,914	△3,950
敷金及び保証金の差入による支出	—	△43
敷金及び保証金の回収による収入	807	2,822
投資事業組合からの分配による収入	8,228	11,536
投資有価証券の払戻による収入	22,039	3,912
投資有価証券の売却による収入	—	25,499
その他	△1,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,159	39,777
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	60,000	40,000
長期借入金の返済による支出	△34,079	△12,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,920	27,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,183	15,752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,414	△39,186
現金及び現金同等物の期首残高	566,932	545,518
現金及び現金同等物の期末残高	545,518	506,331

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

当社は、マーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

当社は、マーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産	76.23円	60.49円
1株当たり当期純損失(△)	△11.87円	△18.46円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年5月31日)	当連結会計年度末 (2024年5月31日)
連結貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	571,928	453,878
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	8	2
(うち非支配株主持分(千円))	(8)	(2)
普通株式に係る期末の純資産(千円)	571,920	453,876
1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の数(株)	7,502,800	7,502,800

3 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△89,036	△138,505
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△89,036	△138,505
普通株式の期中平均株式数(株)	7,502,800	7,502,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。